

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名		名誉回復事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	難病対策課		課長:平岩 勝		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条」に基づき、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する正しい知識の普及啓発及び名誉回復に必要な措置を行う。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	①名誉回復事業 中学生を対象としたパンフレットに加え、指導者向けのパンフレットを作成し、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する知識の普及啓発を実施する。また、「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」の式典を開催する。 ②改葬費 各療養所の納骨堂に眠る遺骨について、親族等の墓に改葬するための費用の支給を行う。 ③ハンセン病患者であった者等の名誉の回復を図り、正しい知識の普及啓発を行うため、ハンセン病療養所における歴史的建造物の補修等を行う。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	30	30	112	126	157		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	71	71	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	30	30	183	197	157		
	執行額	13	23	22					
	執行率(%)	43%	77%	12%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 毎 年度	
	前年度の中学校向けパンフレットを活用した学校数×1.1	中学生パンフレットを活用した学校数	成果実績	校	7,378	7,363	集計中	-	-
			目標値	校	8,216	8,116	8,099	-	前年度の実績×1.1
			達成度	%	90	91	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	中学生向けパンフレットの印刷及び発送部数	活動実績	部	1,531,000	1,380,000	1,354,000	-		
		当初見込み	部	1,450,000	1,360,000	1,360,000	1,360,000		
単位当たりコスト	算出根拠	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	パンフレット印刷及び発送の額(X) / パンフレットの配布部数(Y)	単位当たりコスト	円	7.8	9.5	8.8	17.9		
		計算式	X/Y	11,862,270円 / 1,531,000部	13,108,662円 / 1,380,000部	11,948,200円 / 1,354,000部	24,375,000円 / 1,360,000部		
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	ハンセン病名誉回復事業等庁費	126	107	取蔵庫増設に関する設計経費の増					
	施設施工旅費	0	0						
	施設施工庁費	0	50						
	計	126	157						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること							
	施策	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 毎 年度
		ハンセン病資料館事業実施状況報告によるハンセン病資料館の入館者数	実績値	人	25,805	36,098	集計中	-	-
			目標値	人	24,957	25,805	36,098	-	前年度以上
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条」に基づき、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する正しい知識の普及啓発及び名誉回復に必要な措置を行うことで、上位施策の推進に資する。								
	改革項目	分野:	-	-					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-
目標値		-	-	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
	目標値	-	-	-	-	-	-	-	
	達成度	%	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項目	評価							
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 評価に関する説明 ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国費を投入すべき事業である。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○ ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国が実施すべき事業である。							
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づく給与金の支給であり、優先度の高い事業である。							
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○							
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有 一般競争入札を実施した結果、1者応札となった。一者応札となった契約については、引き続き、入札公告期間を確保する等の取組により、解消に努めることとする。							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○ 一般競争入札によって業者を選定しており、妥当である。							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-							
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 名誉の回復等、事業目的に即したものである。							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○ 当初の見込みより入札額が少額だったため。							
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-							
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○ 26年度の成果実績は成果目標を概ね達成しており、見合ったものとなっている。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○ 26,27年度の活動実績は見込みを概ね達成しており、見合ったものとなっている。							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-							
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-							
	所管府省・部局名	事業番号	事業名						
	-	-	-						

点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンセン病問題の解決の促進に関する法律によれば、国の隔離政策に起因してハンセン病の患者であった者等が受けた身体及び財産に係る被害その他社会生活全般にわたる被害の回復には、未解決の問題が多く残されているとされており、ハンセン病の患者であった者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、真摯に取り組むこととされている。 ・本事業は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条の規程に基づく、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する知識の普及啓発及びハンセン病の患者であった方々の名誉回復を図るための事業であり、適切に実施されている。 ・特にパンフレットの配布は、全中学一年生を対象に行った。引き続きハンセン病の正しい知識の普及啓発を行っていく。
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生向けパンフレットの印刷・配布や、らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日の式典に関しては、平成27年度は、一般競争を行い、執行した。今後とも、効率的な執行に努める。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の一部改善

点検結果については、概ね妥当であるが、過去の執行率が低いことから、執行実績や今後の見込みを踏まえた見直しを行うこと。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善

執行実績を踏まえ、一部事業における経費単価の見直しを行った。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	270	平成23年度	128	平成24年度	102		
平成25年度	119	平成26年度	130	平成27年度	137		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
22百万円

中学生向けパンフレットの印刷・配布、らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日に関する経費、ハンセン病療養所入所者改葬費等

事務費
1.6百万円

【一般競争】

A.三浦印刷(株)
7.5百万円

中学生向けパンフレットの印刷の印刷

【一般競争】

B.(株)ペア
4.5百万円

中学生向けパンフレットの梱包・発送

【一般競争】

C.(株)東建築設計事務所
3.9百万円

歴史的建造物の補修に係る調査・設計

【一般競争】

D.(株)別当設計
2.7百万円

歴史的建造物の補修に係る調査・設計

【一般競争】

E.(株)ステージ
1.3百万円

らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日運営事務

【改葬費】

F.ハンセン病療養所等死没者改葬費
0.5百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.三浦印刷(株)			B.(株)ペア		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
ハンセン病名 誉回復事業等 庁費	中学生向けパンフレットの印刷	7.5	ハンセン病名 誉回復事業等 庁費	中学生向けパンフレットの梱包・発送	4.5
計		7.5	計		4.5
C.(株)東建築設計事務所			D.別当設計		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
ハンセン病名 誉回復事業等 庁費	歴史的建造物の補修に係る調査・設計	3.9	ハンセン病名 誉回復事業等 庁費	歴史的建造物の補修に係る調査・設計	2.7
計		3.9	計		2.7
E.(株)ステージ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
ハンセン病名 誉回復事業等 庁費	らい予防法による被害者の名誉回復及び追 悼の日式典運営	1.3			
計		1.3	計		0

